

日本脊椎脊髄病学会 平成 28 年度第 1 回国際委員会議事録

日 時 : 平成 28 年 4 月 13 日 (木) 午前 7:00-8:00

場 所 : 幕張メッセ国際会議場 1 階 会議室 104

出席: 松山幸弘担当理事、湯川泰紹委員長、岩崎幹季委員、金山雅弘委員、根尾昌志委員、矢吹省司委員、川原範夫委員、田中雅人委員、富士武史委員、大鳥精司委員、上井浩アドバイザー (日本大学)

1. English oral session の演題選考

40 題 (感染 21 題、外傷 19 題) の演題応募があり、採択基準 (採択率 7 割) に合わせて 27 題 (最終 26 題) を Oral presentation として採用した。このうち 8 題を Award の finalist として選考した。本日発表、採点、アワード発表予定。採用に際して、同一著者がほぼ同じ内容の演題を複数題応募されている事例が明らかとなり理事会で不採用となった。今年度から 1 人 1 演題の応募に限定する。アワードは 10% 位の 3 - 5 名を予定とする。会場ももう少し main の会場の方がいいとの意見が出た。座長に、外国の先生に依頼するのも、今後考えていく方針となった。

2. 台湾のトラベリングフェロー受け入れ(第 2 回)について

2015 年度は浜松・名古屋と岡山で台湾トラベリングフェローを受け入れた。2016 年は 2 名を受け入れる。大阪大学関連病院 (JCHO 大阪病院、大阪労災病院)、金沢医科大学・金沢大学で受け入れることとする。今後、他のアジアの国からのオファーがあった場合は国際員会で検討する方針となった。

3. 2016 アジアトラベリングフェローの選出 (添付資料)

アジアトラベリングフェローへの応募者 22 名から、12 名を選出した。本日グループ分けと顔合わせを行なった。各施設でのプレゼンテーションの用意、渡航の際の注意事項を連絡した。

4. 2016 年以降のアジアトラベリングフェローの訪問先 (添付資料)

2016 年度の訪問先は、中国・台湾・韓国がそれぞれ 2 施設、香港・ベトナム・シンガポール・インド・マレーシア・インドネシアがそれぞれ 1 施設を選択し、訪問先の 12 施設の確認が行われた。別添の 1, 7, 11 の施設は代替わりの可能性があり、今後要検討である。今後はシニアの visiting scholar を公募して訪問先の開拓に行っていただく。公募がない場合は、国際員会のメンバーが視察に行く等の対処を考える。NASS とのフェローに関しては、現在のところ進展がない状況である。

5. 2016 JSSR の招待医師について

Dr. Kanna RM (Ganga Hospital、インド)

Dr. Brian Freeman (Royal Adelaide Hospital、オーストラリア)

Dr. Yu Bin-Sheng (深圳北京大学、中国)

Dr. Kyu-Yeol Lee (Dong-A university, プサン、韓国)

Dr. Yong Qiu (南京大学、中国)

6. 2017 JSSR の招待医師

台湾の会長 (Dr. Shih-Tien Wang: Taipei Veteran General Hospital)、韓国の会長(未定)、Ki-Tack Kim(慶熙大学、韓国)を招待する。さらに 2 名程度医師を招待する予定である。

7. 次回委員会の日程

日整会学術集会開催期間中の 2016 年 5 月 12 日朝 7 : 00-8 : 00 開催予定。

それまでに必要があればメール審議を行う。